

# おもいやり

## 目次 contents

- P2
  - ・災害対応訓練
  - ・3歳2か月児健診に出張中
- P3
  - ・地域連携交流会
  - ・認知症サポーター養成講座
- P4
  - ・かもっ子のご案内
  - ・栄養室通信

## 病児・病後児保育室「かもっ子」について



お子様が入院を必要としない程度の病気やけがの時など、何日も仕事を休めないとお困りではありませんか？

加賀市医療センターでは、病児・病後児保育室「かもっ子」を開設しています。「かもっ子」は病気治療中のお子様(病児)や、病気回復期のお子様(病後児)をお預かりする施設です。

この保育室では、ご家族の皆様にかわり看護師と保育士がお子様を保育いたします。乳児(おおむね生後6ヵ月)から小学校に就学している児童が対象となります。



※感染症用の個室もあり、伝染性疾患のお子様のご利用もできます。ただし、結核・麻疹(はしか)・風疹・流行性角膜炎の場合は、ご遠慮いただいております。

▶詳しくは当院ホームページをご覧ください。<http://www.kagacityhp.jp/>

お問い合わせ・お申し込み先 加賀市医療センター 病児・病後児保育室 かもっ子  
TEL(0761)76-5179(直通)(7:30から18:30まで)

## 栄養室通信



冬の寒さが少しずつ和らいできました。だんだんと春が近づいていますね。春野菜と言えば、菜の花やタラの芽、筍・ワラビなどの山菜、春キャベツ、アスパラガスなど、様々な野菜が頭に浮かびます。今回はその中から筍と春キャベツについて紹介します。

### 筍

【カリウム】  
むくみの解消、高血圧の予防  
【食物繊維】  
便通やコレステロール値の改善

**栄養素** 筍はビタミンよりもミネラルを多く含み、カリウムや食物繊維が豊富に含まれています。また、甘み・うまみ成分であるアスパラギン酸・グルタミン酸などのアミノ酸も豊富に含まれています。茹で筍にある白い粒は、アミノ酸の一種のチロシンが結晶になったもので、やる気をアップさせる効果があります。

**調理法** 掘りたてであればアクは少ないのですが、生のまま置いておくと硬くなり、えぐみが強くなってしまいますので、早めに茹でるようにしましょう。筍の中心部分は、煮物・揚げ物・炒め物など、どんな料理にも合います。穂先はやわらかいので、細切りにして和え物にするのもおすすめです。

### 春キャベツ

【ビタミンC】  
美肌効果、かぜの予防、疲労回復  
【ビタミンK】  
血液の凝固促進、骨の形成  
【ビタミンU(キャベジン)】  
潰瘍の予防

**栄養素** キャベツにはビタミンC、ビタミンKが豊富に含まれています。また、葉の名前でもよく知られている「キャベジン」と呼ばれるビタミンUも豊富に含まれています。

**調理法** 春キャベツは冬キャベツと違って、丸い球体で内部は黄緑色、葉の巻きは緩くなっています。葉が柔らかく、みずみずしいので、サラダなどの生食に適しています。

## 編集後記

広報委員となって初めての広報誌作成となりました。いままで読む側だった広報誌の作成側となり、その大変さにも驚きつつ、当院の広報の一端を担う責任の重さを感じているところです。これからもよい広報誌を作成できるよう努めてまいります。(I.H)

## 加賀市医療センター 広報委員会

〒922-8522 石川県加賀市作見町36番地  
TEL 0761-72-1188代 FAX 0761-76-5263代  
E-mail kikakukeiei@city.kaga.lg.jp

令和2年3月00日発行



## 基本理念

「おもいやり」  
私たちは、市民とともに、市民中心の医療を提供し、市民の健康を守ります



## 基本方針

1. 信頼される最適な医療を提供します
2. 救急搬送をことわらない体制を目指します
3. 将来を担う優れた医療人を育成します
4. 地域に根付いた医療を実践します

## 災害対応訓練

11月23日(土・祝)、南加賀地域で大規模な地震が発生したことを想定した災害対応訓練を実施しました。この訓練は、当院が開院した平成28年から毎年実施しており、今回が4回目になります。病院は災害時にライフラインが一時的に寸断されても、傷病者対応や病棟看護の継続が求められます。今回は、病院に勤務するあらゆる職種のスタッフ総勢100名余りが参加し、加賀看護学校の生徒30名を被災患者に見立てて訓練を行いました。

災害時には、短時間に多くの患者さんが来院する可能性があります。そういった状況下においては、限られた医療資源(ヒト・モノ)を最大限に活用し、患者の重症度に基づいて治療の優先度を決定して選別を行う「トリアージ」が重要になります。



訓練後には、「イメージはしていたが実際には手間取ってしまった」「訓練することは大切であると感じた」といった感想や、「繰り返し行うことが大切」といった意見が寄せられました。有事の際も、地域の人たちに安心を与えられる、頼りになる病院としてこれからも頑張ります!



## 3歳2か月児健診に出張中

「かが交流プラザ さくら」で毎月行われている3歳2か月児健診に、当院の言語聴覚士が参加させていただいています。言語聴覚士とは、ことばのリハビリテーションをするリハビリテーション専門職のことです。言語聴覚士が長年健診に参加しているのは、全国的に珍しく画期的な活動です。



3歳2か月児健診では、保護者の方に「ことばを育てるポイント」や「発達の中で自然に起こる言い間違い」についてお話しさせていただいています。もちろん、個別の相談も承ります。

悩んでいる保護者の方に対して保健師に相談してもらいながら、子育て支援に毎回取り組んでいます。今後も地域の連携を充実させて、子育てをしたいと思えるまちづくりにはげみたいと思います。



## 地域連携交流会

11月21日(木)、ホテルアローレにて地域連携交流会を開催しました。加賀市医療センターの取り組み紹介、加賀市薬業連携の紹介を行いました。各職種よりバランスよく参加していただくことができました。テーブルごとのチーム対抗クイズも行い、各場面で交流している姿が多々見られました。多職種による楽しい時間を共有することができ、ますます地域連携の絆が深まったように思います。

参加人数は176名で、院外より医師・歯科医師・看護師・保健師・薬剤師・ケアマネージャー・事務・訪問看護ステーション・介護サービス事業所・加賀市健康福祉部と、多職種からの参加をいただきました。

**加賀市における薬業連携の紹介**

- 薬業連携の目的  
保険薬局薬剤師と病院薬剤師が連携し、患者さんに、より安心して継続した薬物療法を提供する
- 薬業連携の会にて課題を共有し検討  
処方せんの疑義解釈、おくすり手帳の普及  
在宅医療や採用薬、研修会の企画などを検討
- 薬業連携のツール  
おくすり手帳、施設間情報連絡書

加賀市  
薬業連携の紹介



**地域がん診療連携推進病院**  
(H31年4月1日 指定をうけました)

**がん診療支援相談窓口**  
と き: 平日 午前8時30分~午後5時15分  
ところ: 地域連携センター つむぎ内  
① 受付窓口 (要事前予約)  
対応者: 看護師・MSW

**患者サロン 集まるっさ**  
~がん患者さんとご家族が集う場所~  
と き: 毎月 第4水曜日 午後 3:00~4:30  
ところ: 2階 レストラン・マンダリーヌ (予約不要・参加費無料)  
加賀市医療センターの患者さん以外の方も参加できます。

加賀市  
医療センターの  
取り組み紹介



会場の様子

## ~認知症に関わらずやさしい対応をめざして~ 認知症サポーター養成講座

職員の4人に1人が“認知症”サポーター!!

医療センターの職員として、また地域で生活する生活者として、認知症について正しく理解し、認知症の人の気持ちを知るといことをねらいとして12月8日(日)に開催しました。

認知症キャラバンメイトである市内のケアマネージャーさんより「加賀市の高齢者の現状」と「認知症ってどんな病気」、「認知症の病気を抱えている方の気持ちを理解しよう」という内容についてお話していただきました。日頃、地域を支えてくださっている介護支援専門員さんだからこそ経験している具体的な内容も盛り込まれており、参加した職員も興味深く研修に臨んでいました。

参加者の職種は様々で、看護師・介護福祉士・検査技師・事務職員など、73名の参加がありました。当院の認知症サポーターは昨年の参加者を含め138名となりました。認知症サポーターとして職場や地域で認知症の方やそのご家族の応援者となります。



認知症サポーターの証! オレンジリング